

おひさま

2020. 8
Vol. 7

北茨城市民病院・北茨城市民病院附属家庭医療センター・訪問看護ステーション



家庭医療センター長就任のお知らせ



この度4月から家庭医療センターのセンター長に就任しました大澤 亮と申します。

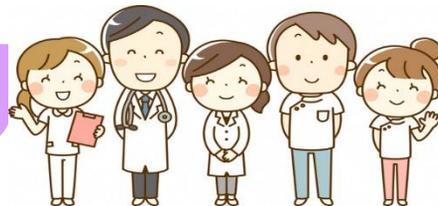
家庭医療センターも今年の6月で5周年を迎え、今後も地域の方が心身ともに健やかに生活できるように、センターのスタッフと一丸となり精進していきたいと思えます。

私も北茨城での勤務は4年目になりました。この地域を知るにつれ、今後もますます北茨城に必要とされる医療・福祉・介護の連携を強めていけたらと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

- 家庭医療センター長就任のお知らせ・・・①
- 新任医師からのご挨拶・・・②
- 北茨城市消防本部便り・・・③
- 今年もフレッシュな仲間を迎えました・・・③

- 連携医療機関のご紹介・・・④
「かもめ・大津港クリニック」
- 夏バテを予防する食材について・・・④

新任医師からのご挨拶



皮膚科 橋本 任

今春から北茨城市民病院に勤務中です。皮膚科の対象疾患は、アトピー、かぶれ等の皮膚炎、蕁麻疹、虫刺症、水虫、带状疱疹、ウイルス性のいぼ、とびひなどの感染症、薬疹、熱傷、魚の目、たこ、にきび、脱毛症、巻き爪、水疱症、癌を含む皮膚腫瘍、SLE、皮膚筋炎等の膠原病、胃癌や白血病などの悪性腫瘍や糖尿病、肝・腎疾患等の全身疾患に伴う皮膚症状、妊婦に特有な皮膚症状など多岐に渡り、金属を含むパッチテスト、顕鏡による真菌検査、ダーモスコピーによる皮膚癌等の精査、病理学的な皮膚生検等の検査など対応しております。

眼科 今留 尚人

令和2年4月1日から、北茨城市民病院眼科に赴任いたしました。東北大学卒業後、宮城、山形、福島の地方基幹病院勤務を経験して参りました。神経疾患、形成外科を含め、眼科分野全般に対して対処させていただきます。前眼部および白内障手術を、7月9日から開始いたしました。硝子体手術に対してはまだ準備中で、当分の間は応急処置と他病院紹介が主な任務となる予定です。お気軽にご紹介いただければ幸いです。



歯科口腔外科 長井 宏樹

4月から北茨城市民病院歯科口腔外科に赴任してきました。大学6年間を広島で過ごし、卒業後に地元の茨城に戻ってきました。筑波大学付属病院とその関連病院で研修を積み、現在に至ります。これまで培ってきた知識と技術を地域の皆様に還元するとともに私自身も成長していきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

外科 窪木 大悟

2年ぶりの赴任となりました。「寄り添う医療」を胸に、適切な消化器外科診療をご提供できるよう、チーム一丸となって診療にあたらせていただきます。よろしくお願ひいたします。



内科 中村 真季

6月から内科で勤務しています。生まれも育ちも茨城県ですが海が見える場所に住むのも勤務するのも初めてです。これまでは内科、在宅医療に携わってきました。また禁煙専門外来に力を入れてきました。病気の患者さんの診察だけでなく、地域の方が病気にならないようなお手伝いもできればと思います。

他施設の方と直接お会いしてお話するのが中々難しい状況ですが、こんな時こそ連携を密にできればと思います。よろしくお願ひいたします。

歯科口腔外科 長谷川 佑磨

4月から北茨城市民病院の歯科口腔外科にて勤務させていただいております。以前は筑波大学附属病院で2年、つくばセントラル病院で1年、口腔外科に携わって参りました。福島県会津若松市出身であり、故郷福島にほど近いこの地で勤務できることをうれしく思います。また私自身も仙台で被災したのですが、東日本大震災で被害にあわれた方々やこの土地のため、誠心誠意、日頃の診療をこなしていく所存です。よろしくお願ひいたします。

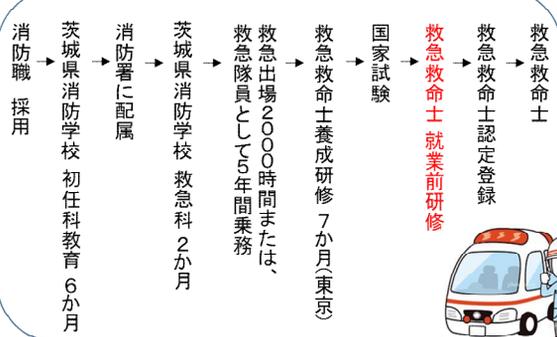


○ 北茨城市消防本部 便り ○ 救急救命士 就業前研修を実施しました

北茨城市消防本部では、救急業務高度化計画により、救急救命士を順次養成しています。養成の一環として、救急救命士の資格を取得した後、救急救命士として救急業務を開始する前には、国が示したガイドラインに基づいた医療機関での「就業前研修」が必要になります。

今年度は、1名の救急隊員が令和2年4月13日から令和2年6月3日まで、北茨城市民病院において、救急救命士就業前研修を実施しました。

消防本部では、このような研修に職員を派遣し、地域の救命率の向上に努めています。



北茨城市消防本部における救急救命士への道のり



就業前研修を行わせていただいた、北茨城市消防本部の植竹です。研修では、患者さんに対して病院内で行われる処置の一部を私が実際に行わせていただいたり、私たち救急隊が傷病者を搬送した後に病院ではどのような流れで治療～入院～退院が行われているのかを勉強することが出来ました。

今回の研修で学んだことを救急現場に活かし、北茨城の救急医療に貢献できるよう努力して参ります。最後になりますが、研修で携わらせていただきました患者様、関係者の皆様、病院スタッフの皆様、ご協力ありがとうございました。

今年もフレッシュな仲間を迎えました



今年度も9名の新規採用者を迎え、看護部一同大変うれしく思っています。

コロナウイルスの脅威が迫る4月初め、期待と不安の入り混じる中ではありましたが、予定どおり新入職者研修を開催しました。研修会場は、十分な広さを確保し、人と人との間隔をあげ、こまめな換気など感染予防対策の徹底を行いました。

4月中旬には、注射、点滴、酸素療法、吸引などの看護技術研修を実施し、6月には3か月フォローアップ研修も元気に開催することができました。現在はそれぞれが各現場で日々奮闘し、力を発揮しています。

いよいよ7月からはBLS研修やWOC研修、新人倫理研修などを予定しており、全員揃って次のステップへと進んで参ります。

これからも私たち看護部は皆で支え合いながら、新しい仲間達を全力でサポートし、新人の育成に取り組んで参ります。



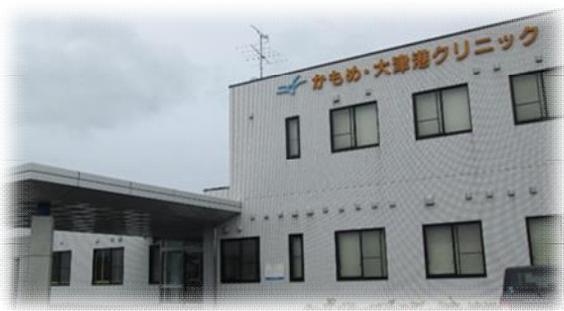
連携医療機関のご紹介

かもめ・大津港クリニック 院長 片寄 功一 先生



当院は平成10年12月に医療法人かもめクリニック「かもめ・大津港クリニック」として開院し、腎臓病の治療や透析医療を中心に取り組んでまいりました。特に当院では、一般的な透析治療を伴う血圧異常や合併症のリスクを軽減するため、6時間以上の透析を週3回施行する「長時間透析」を実施しています。また、十分な透析量を確保しつつ、良好な栄養状態を維持するように食事指導もしています。今後とも個々の透析患者さんがADLを低下させず、自立し社会復帰できるように、透析法や栄養管理を工夫し実践していきたいと考えております。

近年、慢性腎不全に至る原疾患として、糖尿病や高血圧などによるものが増加しており、透析導入時には、すでに種々の合併症を有していることも多いのが現状です。また透析導入後も、専門科受診が必要になることが多く、北茨城市民病院の各科に紹介させていただいておりますが、いつも迅速、丁寧に対応していただき大変感謝しております。



- 診療科目 腎臓内科、人工透析
- 診療時間 日中透析 月-金 8:00-17:00
内科外来 水(月2回・予約制)
日曜休診
- 住所 〒319-1704
茨城県北茨城市大津町北町字深田432-1
- 電話 0293-46-0133
- F A X 0293-30-2061

◇◆夏バテ予防にご活用ください◆◇

●ビタミンB1の豊富な食品(豚肉、大豆製品、胚芽、枝豆 など)

ビタミンB1は糖質をエネルギーに変換させる働きがあります。
麺類と豚肉を一緒に食べたり、ごはんに玄米を混ぜてみるのもおすすめです。

●ビタミン・ミネラルの豊富な夏野菜(ゴーヤ、キュウリ、トマト、ピーマン、カボチャなど)

ゴーヤやピーマンのビタミンCは加熱しても失われにくく、お酢と一緒にとるとビタミンCを効率よく吸収できます。

●香味野菜(みょうが、大葉、ねぎ、生姜、にんにく など)

食欲増進させる働きがあります。
ネギやニンニクにはビタミンB1の効果を持続させる働きもあるため、豚肉や豆腐と一緒にするのがお勧めです。
カレー粉などスパイスの利用も食欲増進につながります。



- 発行 北茨城市民病院
〒319-1711
茨城県北茨城市関南町関本下1050番地
TEL 0293-46-1121 FAX 0293-46-6526
URL <http://kitaibaraki.info/>
- 発行人 事業管理者 田淵崇文
- 編集 北茨城市民病院広報委員会

